2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名	三洋工業株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	5958	URL	http://www.sanyo-industries.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 取締役社長	（氏名）	山岸　茂
問合せ先責任者	（役職名） 取締役財務部長	（氏名）	園田　崇之　　TEL　03-5611-3451
半期報告書提出予定日	2026年11月９日	配当支払開始予定日	2026年12月２日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	12,655	△0.5	421	△14.6	541	△9.8	343	△10.6
2026年３月期中間期	12,722	△4.7	493	△29.3	600	△25.5	383	△17.9

（注）包括利益　2027年３月期中間期　535百万円（　8.3%）　2026年３月期中間期　494百万円（　22.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	122.26	―
2026年３月期中間期	126.68	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	27,466	21,126	76.9	7,520.43
2026年３月期	28,651	20,904	73.0	7,455.23

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　21,126百万円　　2026年３月期　20,904百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	100.00	―	120.00	220.00
2027年３月期	―	100.00			
2027年３月期(予想)			―	110.00	210.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	1.9	1,750	△4.4	1,950	△4.5	1,300	△7.1	463.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）　詳細は添付資料９ページ「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,960,000株	2026年３月期	2,960,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	150,738株	2026年３月期	156,037株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,805,728株	2026年３月期中間期	3,029,044株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年4月～2026年9月）のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、個人消費や設備投資が持ち直し、景気は緩やかに回復しました。一方、中東情勢の緊迫化によるエネルギー・原材料価格の上昇で、物価の上昇圧力が当面続く見通しです。これに金融資本市場の変動や自然災害の影響も加わり、先行きには不透明感が残っています。

当社グループを取り巻く建築業界では、新設住宅着工戸数が持家・貸家・分譲住宅のいずれも前年同期を上回りました。ただし、これは前年に省エネ基準適合義務化の影響で着工が大きく落ち込んでいた反動によるもので、水準そのものは回復途上にあります。また、店舗・工場・倉庫の着工床面積は前年同期を下回り、非居住分野の建築需要は弱い動きとなりました。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期３ヵ年経営計画「SANYO VISION 79」（2025年度～2027年度）の２年目の計画に沿って、『高付加価値化追求に向けた事業基盤強化とサステナブル経営推進による企業価値向上』を基本方針とし、新製品の発売及び成長戦略商品の拡販や設計指定活動の強化を行い、生産効率アップ及びコスト抑制などの戦略施策に取り組み、ステークホルダーと協働共栄で中長期的な企業価値の向上の実現に向けて邁進してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は12,655百万円（前年同期比0.5％減）となり、利益面につきましては、売上高の減少に加え、競争環境の激化による収益性への影響もあり、営業利益421百万円（前年同期比14.6％減）、経常利益541百万円（前年同期比9.8％減）、親会社株主に帰属する中間純利益343百万円（前年同期比10.6％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①　三洋工業

軽量壁天井下地につきましては、耐震天井製品の受注量が伸び悩んだほか、ビルや商業施設用の一般製品についても低調に推移したことなどから、軽量壁天井下地全体の売上高は減少いたしました。

また、床システムにつきましては、主力製品である学校体育館などスポーツ施設用の鋼製床下地材製品やマンションなど集合住宅用の遮音二重床製品が好調に推移したことから床システム全体の売上高は増加となりました。

アルミ建材につきましては、エキスパンションジョイント・カバーが減少しましたが、アルミ笠木およびルーバー製品が伸長したことから、アルミ建材全体の売上高は増加となりました。

この結果、売上高は10,442百万円（前年同期比2.9％減）、セグメント利益205百万円（前年同期比52.5％減）となりました。

②　システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）につきましては、主力取扱い製品である鋼製床下地材製品や床関連商品を中心に、設計指定活動を通じて積極的な拡販に取り組み、受注量が好調に推移したことからシステム子会社全体の売上は2,678百万円（前年同期比22.3％増）、セグメント利益は169百万円（前年同期セグメント損失７百万円）となりました。

③ その他

その他につきましては、売上高308百万円（前年同期比6.1％減）、セグメント損失は11百万円（前年同期セグメント利益０百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産は、主に現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,185百万円減少し27,466百万円となりました。

負債は、主に電子記録債務、未払法人税等、賞与引当金等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,407百万円減少し、6,339百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことやその他有価証券評価差額金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ222百万円増加し、純資産合計は21,126百万円となりました。この結果、自己資本比率は76.9％となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末の7,303百万円から2,699百万円減少し、4,603百万円となりました。各々のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、27百万円の資金収入（前年同期は657百万円の資金収入）となりました。その要因は、仕入債務の減少額827百万円、賞与引当金の減少額149百万円、法人税等の支払額356百万円等の資金減少に対し、税金等調整前中間純利益541百万円、売上債権の減少額804百万円等の資金増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,375百万円の資金支出（前年同期は1,323百万円の資金支出）となりました。その要因は、定期預金の預入による支出2,050百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出373百万円等の資金減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、352百万円の資金支出（前年同期は687百万円の資金支出）となりました。その要因は、配当金の支払額333百万円等の資金減少によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2026年４月１日から2027年３月31日）の連結業績予想につきましては、2026年５月11日発表の数値に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,353	6,653
受取手形、売掛金及び契約資産	4,775	4,382
電子記録債権	2,846	2,433
商品及び製品	1,451	1,577
仕掛品	160	158
原材料及び貯蔵品	794	894
その他	119	194
流動資産合計	17,501	16,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,472	3,284
機械装置及び運搬具（純額）	695	1,109
建設仮勘定	1,514	－
土地	2,728	2,728
その他（純額）	308	311
有形固定資産合計	7,720	7,433
無形固定資産		
ソフトウエア	64	46
その他	25	25
無形固定資産合計	90	72
投資その他の資産		
投資有価証券	1,260	1,566
繰延税金資産	6	26
退職給付に係る資産	1,135	1,145
賃貸不動産（純額）	804	792
その他	141	146
貸倒引当金	△9	△11
投資その他の資産合計	3,339	3,665
固定資産合計	11,150	11,171
資産合計	28,651	27,466

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,561	1,723
電子記録債務	2,681	1,691
短期借入金	665	665
未払法人税等	383	243
賞与引当金	515	365
役員賞与引当金	26	13
その他	902	538
流動負債合計	6,734	5,240
固定負債		
繰延税金負債	470	555
退職給付に係る負債	49	46
その他	492	497
固定負債合計	1,012	1,098
負債合計	7,747	6,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,175
利益剰余金	17,435	17,442
自己株式	△501	△484
株主資本合計	19,863	19,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	692	904
退職給付に係る調整累計額	348	328
その他の包括利益累計額合計	1,041	1,233
純資産合計	20,904	21,126
負債純資産合計	28,651	27,466

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,722	12,655
売上原価	9,039	8,913
売上総利益	3,683	3,742
販売費及び一般管理費	3,189	3,320
営業利益	493	421
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	21	24
受取賃貸料	73	73
売電収入	23	22
その他	20	30
営業外収益合計	146	157
営業外費用		
支払利息	3	4
不動産賃貸費用	25	25
売電費用	6	6
その他	4	0
営業外費用合計	39	37
経常利益	600	541
特別損失		
固定資産売却損	10	－
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前中間純利益	589	541
法人税等	206	198
中間純利益	383	343
親会社株主に帰属する中間純利益	383	343

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	383	343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	211
退職給付に係る調整額	△5	△19
その他の包括利益合計	110	192
中間包括利益	494	535
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	494	535
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	589	541
減価償却費	233	306
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△23	△38
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△1	△3
賞与引当金の増減額（△は減少）	△158	△149
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△17	△13
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	2
受取利息及び受取配当金	△27	△30
受取保険金	－	△2
支払利息	3	4
固定資産売却損益（△は益）	10	－
固定資産除却損	0	0
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	1,259	804
棚卸資産の増減額（△は増加）	△106	△223
仕入債務の増減額（△は減少）	△975	△827
未払消費税等の増減額（△は減少）	23	△23
その他	△30	9
小計	777	356
利息及び配当金の受取額	27	30
利息の支払額	△3	△4
保険金の受取額	0	2
法人税等の支払額	△145	△356
営業活動によるキャッシュ・フロー	657	27
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,050	△2,050
定期預金の払戻による収入	50	50
有形固定資産の取得による支出	△322	△371
有形固定資産の売却による収入	6	－
無形固定資産の取得による支出	△5	△1
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,323	△2,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	925	970
短期借入金の返済による支出	△925	△970
リース債務の返済による支出	△17	△18
配当金の支払額	△171	△333
自己株式の取得による支出	△497	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687	△352
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,353	△2,699
現金及び現金同等物の期首残高	9,596	7,303
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,242	4,603

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	三洋工業	システム子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,347	2,112	12,459	262	12,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	402	77	480	65	545
計	10,749	2,190	12,940	328	13,268
セグメント利益又は損失(△)	432	△7	424	0	425

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	424
「その他」の区分の利益	0
セグメント間取引消去	68
中間連結損益計算書の営業利益	493

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)	合計
	三洋工業	システム子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,988	2,449	12,437	218	12,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	454	229	683	89	773
計	10,442	2,678	13,121	308	13,429
セグメント利益又は損失(△)	205	169	375	△11	363

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	375
「その他」の区分の損失(△)	△11
セグメント間取引消去	57
中間連結損益計算書の営業利益	421